



SWIFTeS

ユーザー会報告書

Vol.6

開催日

11月13日(木曜日)
14日(金曜日)

【会場】 大塚比叡山荘(大塚製薬様保養所)
【主催】 SWIFTeSユーザー会事務局

第6回 SWIFTeSユーザー会開催

2008年11月13日～14日、第6回SWIFTeSユーザー会が開催されました。会場は、大塚製薬様のご厚意により、同社保養所「大塚比叡山荘」を利用して頂きました。両日は、製薬関連企業11社から19名の方々が参加されました。内容としては、まずテーマ1で、CACからSWIFTeSの新バージョンの機能についてご紹介するとともに、事前アンケートの集計結果も踏まえて、SWIFTeSの今後について討議しました。テーマ2では、ジャストシステム様から同社の校正支援ソリューションについてご説明いただき、CACからは文書レビューツール「PleaseReview」をご紹介したところ、申請書類作成/レビューの効率化と品質向上について、質疑応答が繰り広げられました。1日目の夜には懇親会も開催し、歓談を通じて会員相互の情報交換と相互交流を深めることができました。

プログラム

セッション1	SWIFTeSの新機能および今後について (事前アンケートの集計データに即して ディスカッション)
セッション2	文書のレビューおよびオーサリングを 支援するツールのご紹介 (Just Right!3、PleaseReviewについて説明/デモ)
懇親会	

セッション1

SWIFTeSの新機能
および今後について

株式会社シーエーシー

医薬BTO第三センター 中田 雅之

この10月にSWIFTeSの新たなバージョンとして、バージョン3.3をリリースしました。バージョン3.3では、Office 2007及びWindows Vistaへの対応を実現しています。SWIFTeSはMS Wordをベースにしていますが、Word 2003以前のバージョンとWord 2007ではユーザー・インタフェース及び機能等が大きく異なるので、バージョン3.3ではWord 2007でSWIFTeSを使うための新たな対応を追加しました。もちろん、Word 2003以前のバージョンに対応した旧バージョンのSWIFTeSで作成した文書も問題なく扱えます。

また、SWIFTeS バージョン3.3では、見出し開始番号の設定、クロスリファレンスの設定、参考文献の作成などの面で機能を拡張しています。

「参考文献のDB化」は、前回ユーザー会での事前アンケートにおいて要望が高かった項目ですが、Word 2007では「参考資料」作成の機能として実現されました。この機能では「参考資料」のデータがXMLファイルに格納されるので、これを共有サーバーに置けば共有のDB化が可能です。ただし、Word 2007の参考資料はバンクーバー形式には対応しておりません。



今回の事前アンケートでは、「追加したい機能」として、「辞書、QC機能」「クロスリفرنスの設定漏れチェック」「eCTDの仕様に準拠しているかをチェック」などが特に要望が多く挙げられていました。

「辞書、QC機能」については、ジャストシステム様からソリューションが提供されていますので、セッション2でご紹介します。

「クロスリفرنス」については、図表、目次、見出し番号をリンクすることで、ある程度は機械的に漏れをチェックすることができます。

「eCTD仕様への準拠」については、すべてを機械的にチェックするのは難しいのですが、StyleテンプレートとしてeCTD準拠のものを用意しておけば、チェックの手間を大幅に削減できるはずです。

SWIFTesそのものに対する要望として「重いので軽くしてほしい」という声もいただきました。機能のモジュール化を

図るなどして「軽く」していくことも今後の課題と捉えています。

事前アンケートでは、他にも追加してほしい機能を具体的に挙げていただき、eCTD対応に関する課題もお聞かせいただいています。今後、それらのご要望やご意見について、開発難易度とバランスを図りながら、SWIFTesの機能追加やバージョンアップを図っていきたくと考えています。

セッション2

① メディカルドキュメントの品質向上・品質安定化のご提案

校正支援ソリューションのご紹介

株式会社ジャストシステム 法人ビジネス営業部
 営業推進課 課長代理 清水 克英氏
 コーポレート営業課 石山 徹氏

当社は日本語処理技術に関わる製品を開発してきました。その技術を活かして「Just Right!3」という校正支援ツールをご提供しています。Just Right!3は新聞社・出版社やテクニカルドキュメント作成などで実際に利用されており、好評いただいています。このJust Right!3をメディカルドキュメント作成に利用し、品質確保、工数削減、QC担当者の負荷軽減に役立てていただきたいというのが、今回のご提案です。

Just Right!3は、用字・用語のチェックや表記・表現のチェックをルールに即して自動的に行ないます。また、当社の日本語入力システム「ATOK」と組み合わせることによって、文章の執筆段階でミスを未然に防ぐことができます。また、ATOKには「医療辞書」も用意されていますから、医療専門用語のスムーズな入力・変換が可

能になります。さらに、ATOKの「用語管理データベース」によって自社の用字・用語ルールを辞書として作成し、「辞書配信システム」によってルールを全社で共有することができます。メディカル・ライティングにおいては、すでに5社の医薬品メーカーで評価導入中です。

セッション2

② コラボレーティブ・レビュー・ツールの紹介

株式会社シーエーシー
 医薬BTO第三センター 中田 雅之

複数の担当者がインタラクティブに協働して文書のレビューをするためのツール、「Please Review」についてご紹介します。ドキュメント作成ソフト等に付属のレビュー機能には、レビュー担当者間の連携サポートは、ほとんどありません。そのためレビュー遂行が非効率になり、執筆者がレビューコメントの整合調整とフィードバックに多大な時間を費やしています。Please Reviewでは、まず執筆者がレビューをセットアップします。すると各参加者にレビュー案内メールが届き、その指示に基づいて各参加者がレビューを行います。対象ドキュメントとレビュー結果は「Please Review Portal」に格納されるので、執筆者とレビュー参加者の全員がレビューの状態をリアルタイムに確認でき、相互にディスカッションすることもできます。執筆者はコメントや修正候補を効率的に確認し、反映することによってドキュメントを最終化してレビューを終了します。ブラウザベースでメールとも連携

した使いやすいツールなので、レビューの時間と手間を大幅に削減し、ドキュメントの品質向上に貢献します。医薬品メーカーでは、社内SOP、申請文書、Documentation資料、添付文書など、さまざまな文書・資料のレビューに活用できると思います。

2009年にリリース予定の次期バージョンでは、レビュー機能に加えて共同執筆も可能になります。この機能は1つの文書を予めアサインされた複数の執筆者で作成するための機能であり、MS Wordのインターフェースを用いて文書の一部を執筆する仕様になっています。もちろん、文書作成後は既存機能でのレビューが可能になり、執筆からレビューまでの共同作業を「Please Review」内で実行することが可能になります。機能詳細については、ベータ版のリリース後にご紹介いたします。

このユーザーレポートに関する
お問い合わせ先

SWIFTes ユーザー会事務局

株式会社シーエーシー
 医薬BTOコラボレーション部

TEL: 03-6667-8032

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町24-1

URL: <http://www.cac.co.jp/pharma/>

E-Mail: prasma@cac.co.jp

健康と笑顔が溢れる明日へ、医薬とともに歩む ITパートナー CAC